

# 松本市市民活動

# サポートセンター通信

## NO.16

発行元：松本市市民活動サポートセンター  
〒390-0874 松本市大手 3-8-13  
松本市役所大手事務所 2 階

TEL/FAX：0263-88-2988

E-mail：support-center@support-center.jp

URL：http://www.support-center.jp



### 分野別 交流会

### 「地域情報とまちづくり ～私のまち松本～」

6月27日、分野別交流会「地域情報とまちづくり～私のまち松本～」が開催され、市民団体はじめ、マスコミ・IT企業、商工会議所、青年会議所、大学、行政などから参加がありました。今までサポートセンターの交流会というと、市民団体に限定されてしまう傾向にありましたが、この分野では、より広い連携を目指して、民間企業にも参加を呼びかけました。

松本の宝ものを紹介する冊子、英字フリーペーパー、観光ポータルサイト、コミュニティブログ、ケーブルTVなど、様々な媒体による情報（次ページclose up参照）が集まりました。まずは個々の活動紹介と名刺交換。その後グループに分かれて意見交換をしました。「認知されていない」、「人材の不足」などの課題に始まり、具体的な連携事例も出されました。なかには、「松本らしさをつくるのは、“そと”の人」という意見もありました。

私たち住民自身が、松本にいて、その価値（宝）に気づき再発見することは、松本のブランドづくりにも繋がっていくことでしょう。この地道な活動により集められた情報が、参加者の連携により、どのような形で発信、活用されていくのか期待されます。

いま「コミュニティ・メディア」を活用した地域活性化のための官民協働の取り組みが各地で進んでいます。松本でも

「新まつもと物語プロジェクト」など新たな情報ネットワークが組織されてきました。



交流会のようす

今後、地域密着型の情報発信の質の向上には、更なる情報の集約とコンテンツ（内容）の充実が求められます。新たなコンテンツの発掘には、情報を提供する人材の拡大も不可欠です。“全市民が情報提供者になれば...” 夢は膨らみます。

「松本地域情報コーナー」を設置しています！

サポートセンターでは、松本を紹介するホームページや冊子を展示しています。関連する各種サイトも、市民向けパソコンでご覧いただけます。7月31日まで。

### 若者の しゃべり場

### 「市民活動は シニアが担うもの？」

地域活動やボランティア活動など、いたるところで活躍するシニア。皆さんがよく口にする悩みは、自治組織やボランティアグループでの後継者不足です。確かに地域のイベントなどでも若者の姿は少なくなりました。このサポートセンターでも利用者の多くは熟年層で、若者の来館が少ないのが現状です。

では、若者は、市民活動に興味がないのでしょうか？社会に無関心なのでしょうか？その辺りの本音を聞いてみよう、6月20日、何人かの高校生や大学生に集ってもらいました。この日のフリートークの中で「市民活動とかセンターという名前がダサイ」とか「そもそもサポートセンターの存在を知らない」といった指摘があり、サポートセンターが若者に認知されるためにはどうしたらよいかなど、意見を交わしました。「高校新聞に掲載して、センターの存在をPRしたら？」など、なるほど若者らしい意見がでてきました。

今後も「若者のしゃべり場」は、若者から出てきたものを大切にしながらボチボチとやっていきます。まずは「語る場所」づくりから。次回は7月18日開催。

### 「生きる力」サポーター募集

子どもたちが、社会の一員として、地域の課題、社会の課題について、解決を目指して実践活動する「松本っ子まちづくりクラブ」が先月から活動を始めました。

生涯学習や社会教育の機会や経験が多い人ほど、社会参加活動に対する将来的意向が高いという研究結果（宇都宮大学・佐々木英和准教授）もあり、社会参加は早いうちに芽を出すと収穫も多いようです。

松本市では、小・中学校での総合学習の授業や、地域で実践する社会参画体験プログラムの講師をしていただけるサポーターを募集しています。分野は、まちづくり、福祉、環境、国際理解などさまざま。ぜひ、ご登録いただき、日頃の活動を子どもたちに伝えてみませんか？（詳細及び申込書は同封）

<問合せ：勤労青少年ホーム TEL 26 - 1083 >

このコーナーでは、地域で活動している、さまざまな市民団体をご紹介します！！  
 今回、お話を伺ったのは、『私のまち松本「地域と開発」市民会議』と『松本サポーターズクラブ Razuso』の両団体です。

## 私のまち松本 「地域と開発（かいほつ）」市民会議

連絡先 (株)デザインカ口内 TEL : 35-1934  
 FAX : 34-0794

事務局の茂住光延さんにお話しを伺った。設立のきっかけは、市制 100 周年記念イベント。地域自慢を発表する機会を設けようとしたところ、趣旨に賛同する人が予想以上に多く、市内全域から約 50 名が集まった。

昨年 9 月、あがたの森公民館で開催された公民館 60 周年記念イベントで、会員自ら「自分の暮らすまちの自慢」を持ち寄って発表し、今年 2 月に「私のまち松本自慢」として冊子にまとめ発刊した（写真参照）。「全ての地域を網羅しているわけではないが、さまざまな宝物が地域に眠ったままになっていることにびっくりした」と茂住さんは振り返った。さらにデジタル化は？との質問には、「リアルな形で残すことに意義を感じ、冊子という形にこだわっている」とHP等デジタルメディアでの発表は考えなかったとのこと。

冊子では、「とっても贅沢 湧水で点てるお茶」とか「夏至の前後、針塚古墳より望む北アルプスへ沈む夕陽」など、松本らしい地域の「宝もの」が手書きのイラストと共に紹介されている。会員の素朴な声を生かし実名で語られる地域の「宝もの」は、本当にそこで住んでいる人にしか分からないけれど、とても貴重な興味深い内容で、より多くの方に知ってもらいたいと思うようなまさに「地域自慢」だ。

今後は未開発情報の収集、続編の作成、冊子を通してのPR、体感ツアーを行なう予定だ。体感ツアーは紹介者がガイドとなって案内するもので、今年度は会員限定でツアーを数回企画している。「ツアーがきっかけで地域ぐるみのもてなしに発展すればいいですね」と茂住さん。次回作への要望は高まっているが、その前に会としての基盤整備に取り組みたいと考えている。



500 円で販売中  
 お申し込みは  
 上記連絡先まで

## 松本市ボランティアセンターから - ご案内 -



# 松本市ボランティアセンター講座開催のお知らせ



問合せ：TEL 25-7311

松本市ボランティアセンターではボランティア活動のさまざまなニーズに合わせ講座等の開催を予定しています。

詳しい日程や募集内容は、その都度社協だよりや松本市社会福祉協議会ホームページで紹介しています。

(HP : <http://www.syakyo-matsumoto.or.jp/>)

開催時期	講座等 内容
8月～	災害ボランティア養成講座
9月	学生ボランティア交流会
10月～12月	団塊世代の料理教室
1月	傾聴ボランティア講座（初級）
2月	ボランティア交流集会

### ボランティア募集情報

次のボランティアをしていただける方を随時募集しています。

興味のある方はボランティアセンターまでご連絡ください。

託児ボランティア…行事の際子どもを見ていただける方や子ども好きな方(資格のない方でもOK)

車いす介助ボランティア…行事の際車いす使用の方のサポートをしてくれる方

演芸ボランティア…施設などで特技を披露してくれる方



## 松本サポーターズクラブ Razuso (ラズーソ)

連絡先 TEL : 32-7646/FAX: 36-2024  
HP : <http://www.razuso.com>

「名前の由来は『そーずら』をひっくり返したんです」と(社)松本青年会議所 市民力推進委員会 委員長でRazuso 担当責任者の井上博文さんは微笑んだ。実に松本らしさがでている名前だと感じた。

Razuso は、市民活動団体の連携をサポートする目的で、平成 18 年からインターネットによる情報発信が中心の活動を始めている。個々の活動団体は同種・同分野での繋がりはあるが、他分野または複数の分野をまたぐような繋がりはない。そこで、それぞれの仲立ちと情報発信に役立つ活動が必要だと痛感し、設立を考えた。

「市民活動団体はそれぞれ特徴のある活動を行なっているが、その活動への入り口をもっと気軽にしたい」と井上さん。ホームページを通してイベントやボランティアへの参加者募集ができた、ちょっとボランティアがしてみたい人にぴったりの情報が探せたり、さまざまな提案をしているが、まずはメール会員を募集中だ。

去る 6 月 29 日、「松本のまちづくりを考える女の 101 人会議」主催による「松本の宝探し水巡りスタンプラリー」(右下写真)が Razuso の共催で行なわれた。このようにさまざまな団体と連携した活動も行なっている。また、7 月 23 日から 27 日まで、オクトーバーフェスト 2008( )が松本城西側駐車場で予定されており、井上さんはその実行委員となっている。開催に向けて、イベント設営などのボランティアの募集や、協力団体との橋渡し、調整をしたいと考えている。

「理想は高く持たないと」と幅広い分野から誰でも気軽に参加できるような情報発信を行ない、ゆっくり時間をかけ“市民力”を育てる窓口となることを目標とする。



( ) ミュンヘンで開催される世界中から 6 万人が集まるビールまつりにならい、全国 7 都市で開催。

### 豆知識 ~ 基礎から学んで賢く活用 ~

## 助成申請のツボ



活動に弾みがつく助成制度はどの団体でも一度は利用してみたいと考えるもの。今回は助成申請にあたって注意すべきポイントを取り上げました。

#### 1 申請するにあたって心がけたいこと

##### (1) 助成金の趣旨を理解して、団体の事業計画や目的に一致するものを選ぶこと!

無理をして助成を受けてしまうと、団体本来の使命や目的を見失い、スタッフも疲弊してしまいます。また事業の実施自体が困難になることも考えられます。

##### (2) 申請前にまずは団体内で話し合いを!

団体の目的等にあっているのか、本当に助成が必要なのか、団体内部でしっかり話し合いましょう。また、事業実施に向けて、みんなのやる気を高めることも必要です。

#### 2 申請書類作成のポイント

##### (1) 分野やテーマなどの応募条件を満たしていること!

特に福祉分野では専門性が問われるなどの条件も

あり注意が必要です。また、他の助成団体から同趣旨同分野の助成を得ていると助成が認められないなどの欠格事由等も事前に確認しておきましょう。

##### (2) 事業が助成金の趣旨にそって実施されることを積極的にアピールする!

審査で大きく差が開くことは稀です。助成の趣旨と事業が一致し、かつ事業が効果的に行なわれることを、どれだけ具体的にわかりやすく説明できるかがポイントです。事前に審査項目が示されている場合は、その審査項目の観点を中心に、積極的にアピールしてみましょう。

##### (3) 文章や語句は分りやすく丁寧に!

メンバー数人で読み合わせするとともに、第三者にも読んでもらい、他人が見ても理解できる内容になっているかどうか確認してもらいましょう。



## 「グローバル格差社会」

～私たちの暮らしと生命にどうつながっているのか？～  
国内・国外の格差の実態と、その解決策について  
洞爺湖サミット出席者による講演  
日 時：7月26日(土) 14時～16時半(受付 13時半)  
場 所：松本市市民活動サポートセンター  
講 師：上村雄彦氏(千葉大学准教授)  
参加費：1,000円  
問合せ：信州八チドリねっと湧～く  
TEL：53-7231(事務局)

## 女鳥羽川の

### アレチウリしつこく抜くぞ 2008

日 時：7月27日(日) 8時～  
8月31日(日) 8時～  
9月28日(日) 8時～  
集合場所：元女橋(桜橋上流の自転車歩行者専用橋)  
作業区域：女鳥羽川浅間橋から桜橋間  
服 装：長そで 長ぐつ ぼうし 手ぶくろ  
問 合 せ：女鳥羽川の自然を考える会  
TEL：62-5470(事務局)

## 7月のスコレ母親講座

### 「命が育つ明るい家庭」

明るい社会は明るい家庭から。“命”が育つ明るい家庭とは？一緒に考えていきましょう。  
日 時：7月22日(火) 10時～12時  
場 所：庄内地区公民館1階 講義室  
講 師：金子通子氏(スコレ家庭教育振興協会)  
備 考：保育を希望する方は要予約  
問合せ：すこ～れお母さんの学習会  
TEL：35-2440(太田)

## 公共交通を考える市民の集い

～乗って残そう生活路線バス・電車・  
考えよう人と環境にやさしいまちづくり～  
日 時：7月26日(土) 13時半～  
場 所：ホテルブエナビスタ3階  
参加費：無料  
内 容：基調講演とパネルディスカッション  
講 師：市川嘉一氏(日経新聞社産業地域研究所)  
問合せ：松本勤労会館内  
TEL：33-9513(事務局)

## 平成の名水百選認定記念

### まつもと城下町 湧水巡り・打ち水大作戦

日 時：7月19日(土) 16時～ \*雨天延期7月21日  
【打ち水大作戦】  
時 間：16時～  
集合場所：大手門井戸、源智の井戸  
問 合 せ：エコネットまつもと  
TEL：34-3267

### 【スタンプラリーで巡る井戸5選】

時 間：打ち水大作戦終了後  
参 加 費：無料  
問 合 せ：松本市環境保全課  
TEL：34-3267

### 【平成の名水百選記念 まつもと城下町湧水巡り】

時 間：17時～18時  
19時～懇親会(各自実費)  
集合場所：大手門井戸  
募集定員：20人  
参 加 費：1,000円(保険料、オリジナルグッズ代ほか)  
問 合 せ：新まつもと物語プロジェクト  
TEL：090-2550-8331(山本)

## サポートセンターからのお知らせ

### “サポセン会議室が ご利用いただけません”

市役所大手事務所の耐震補強工事に伴い、下記の期間、当センターの会議室がご利用いただけません。

利用者の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

#### 利用できない期間：

**8月23日(日)～10月26日(日)**

なお、フリースペースは若干狭くなりますが、設備も含め通常どおりご利用いただけます。

## 編集後記

「信州まつもと大歌舞伎」が開催されました。サポートセンターからお練りの様子がよく見え、大勢の見物の方、町会の神輿など、多くの市民の方で賑わっていました。

これをきっかけに松本の夏が盛り上がりを感じています。また、アルプちゃんの貸し出しなど、夏のイベントでお役に立てることがあれば、気軽にお申し出ください。これから、当センターの事業も、歌舞伎に負けず盛り上げていきたいと思っております。(新)